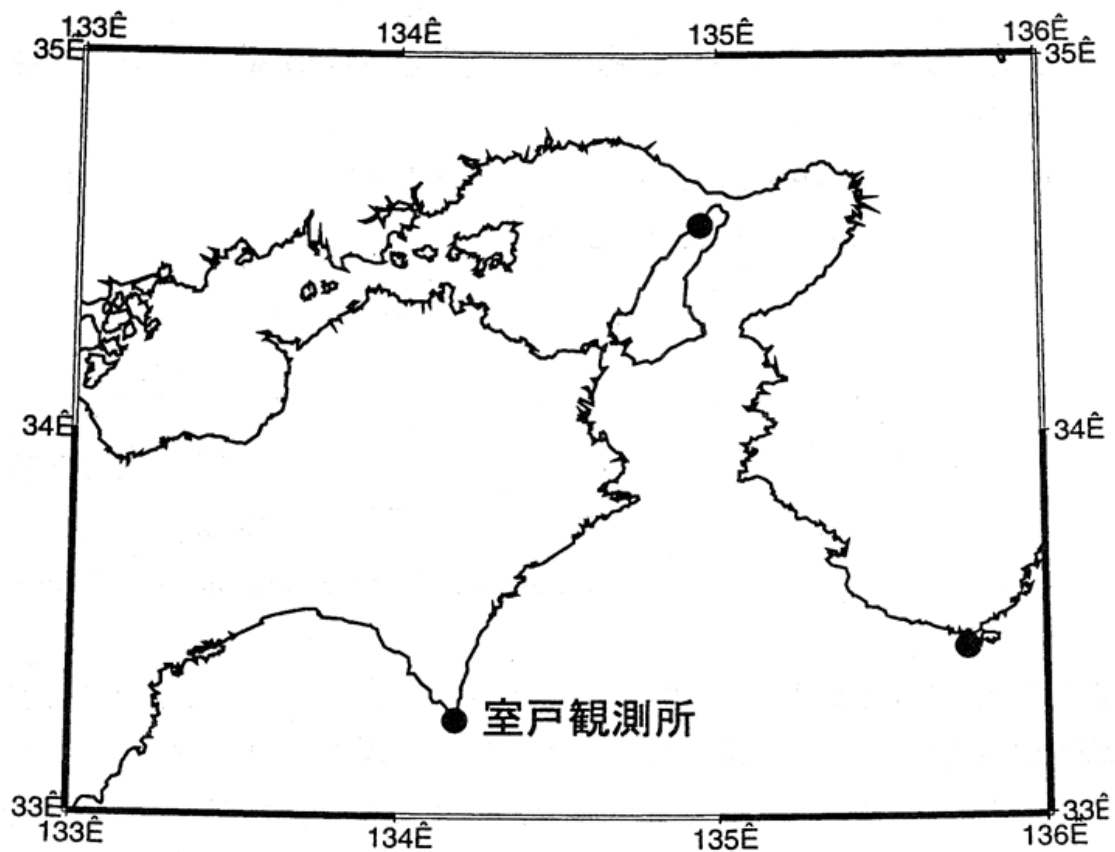


8 - 2 室戸地殻変動観測所における歪・傾斜変化の連続観測結果(1995年10月～2000年4月)

Result of continuous observation of strain and tilt change at Muroto Geophysical observatory (October 1995-April 2000)

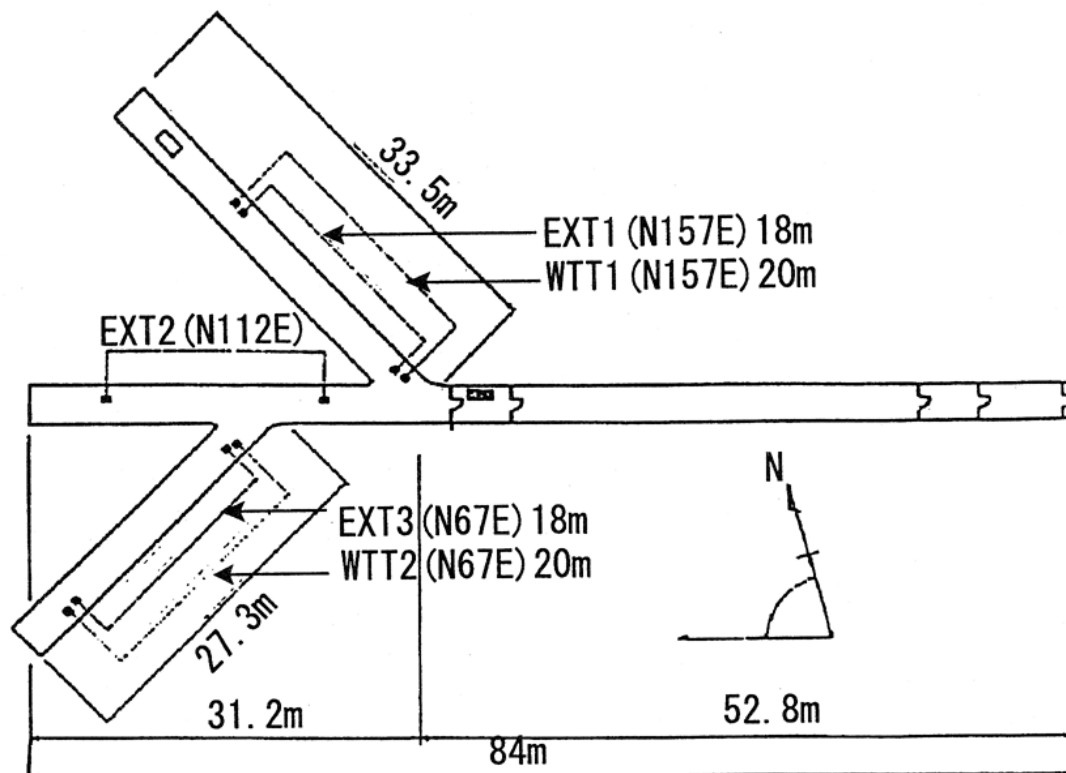
東京大学地震研究所
地震地殻変動観測センター
Earthquake Observation Center
Earthquake Research Institute, the University of Tokyo

室戸岬の先端に室戸地殻変動観測所が1995年に設置された(第1図)。観測設備は石英管伸縮計3成分、水管傾斜計2成分からなる。第2図に観測坑道と計器の設置位置を示す。当初3角形の坑道を掘削する予定であったが、N157E方向の坑道奥の岩盤がもろく急遽現在の形に変更された。第3図に歪・傾斜変化を示す。坑内では湧水もあり、特に歪変化には降雨の影響が顕著に現れている。また、傾斜観測結果によれば岬方向が上昇しており、国土地理院の水準測量結果とは異なっており、現在のところ原因は不明である。



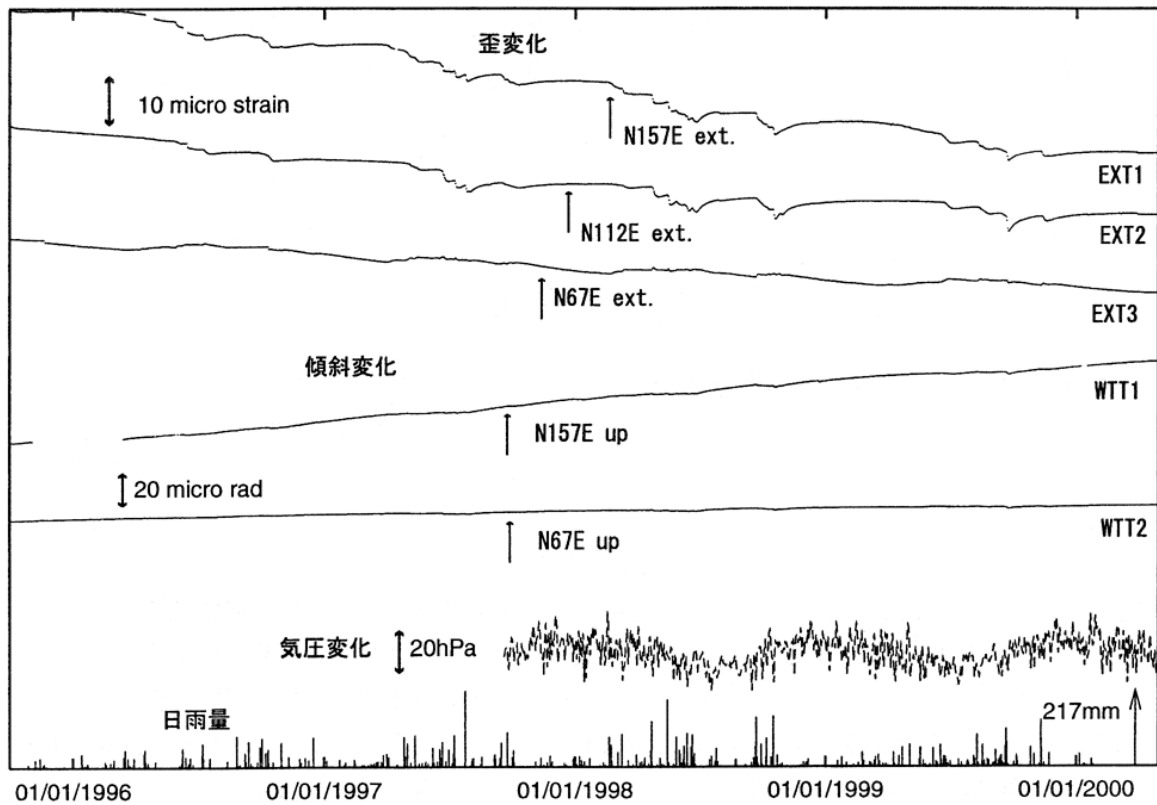
第1図 観測点位置。

Fig.1 Location map of Muroto Geophysical observatory.



第2図 坑内計器配置図。

Fig.2 Location map of the quartz-tube extensometers and water-tube tiltmeters in the vault.



第3図 1995年10月から2000年4月までの歪・傾斜変化(日平均値). 雨量は気象庁室戸測候所による。

Fig.3 Daily change on the strain and tilt from October 1995 to April 2000. Daily precipitation data were observed by Muroto Observatory of JMa.